

環境中期計画「エコ・アクションプラン2020」 2018年度環境活動と実績

木資源の活用

環境目的	中期目標(2020年)	2018年度目標	2018年度実施計画(具体的な内容・方法等)	2018年度の実績
【資材調達】 合法伐採木材の調達を徹底し、持続可能な森林資源調達を推進します。	合法性に関する社内調達基準達成率100%の維持	資源調達ガイドラインの遵守 ・合法性の社内基準適合率の把握	①クリーンウッド法※事業者登録準備 ※「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」の通称 ②取引先への取扱いアイテム合法性証明書類の提出依頼	・クリーンウッド法に定める第2種登録木材関連事業者登録に向けての手続きを継続実施。(2019年6月登録完了) ・取引先に対し「資材調達ガイドライン」に基づく合法性社内適合率の確認を行い、主要構造材において適合率100%を満たしていることを確認した。
		国産材の有効活用 ・構造材への利用率の向上	①国産材供給可能エリアの拡大 ②構造材における利用状況の把握	・九州エリア、関西エリアにおいて構造材(主にスタッド)における国産ランバーの利用促進を図った。
【資源の有効活用】 産業廃棄物のゼロエミッション化を目指します。	住宅のライフサイクルにおけるゼロエミッション化達成率100%	ライフサイクルゼロミッションの把握と向上 ・2020年度ライフサイクルゼロエミッション化達成率100%を目指し、各施策を推進。	①各拠点別に四半期毎の集計結果を社内開示 ②現場分別の徹底策を継続実施	・2018年度ライフサイクルゼロエミッション率:89%
		木質資源の再利用の状況把握と推進 ・2020年度マテリアル・リサイクル率90%を目指し、各施策を推進。	①マテリアルリサイクル業者(有価取引業者)の開拓を継続実施	・2018年度マテリアル・リサイクル率:84%
		産業廃棄物総排出量の削減 ・2020年度達成目標(2016年度排出量水準の維持)に向けて各施策の推進。(MHC工場) ・2020年度達成目標(棟あたり排出量を2015年度比20%削減)に向けて各施策を推進。(新築工事)	①産廃処理業者からバイオマス処理業者等への転換推進。 ②再利用可能品の回収ルールの継続。 ①各拠点別に四半期毎の排出量の集計結果を社内開示。 ②造作材プレカット・省梱包化・養生材の再利用の検討と実施。 ③段ボール等の有価材取引業者の拡大を推進。 ④現場分別の徹底策の立案・実施。	・2018年度実績:21%削減[基準年(2016)比] ・2018年度実績:7%削減[基準年(2015)比] 排出量削減に向け、優良拠点での削減手法ヒアリングおよび他拠点への水平展開を図った。
		産業廃棄物最終処分量の削減 ・2020年度達成目標(棟あたり排出量を2015年度比20%削減)に向けて各施策を推進。(新築工事)	①各拠点別に四半期ごとの集計結果を社内開示。 ②分別の徹底と有価材取引業者の拡大。 ③リサイクルルート(中間処理場)の開拓によるリサイクル率の向上。	・2020年度目標達成に向け、中間処理場の新規採用によるリサイクルルート開拓の継続と研修・勉強会において分別再徹底の注意喚起を実施。

環境性能・価値の創出

環境目的	中期目標(2020年)	2018年度目標	2018年度実施計画(具体的な内容・方法等)	2018年度の実績
【環境デザイン】 環境総合設計の実施を目指します。	環境設計ガイドラインに基づく環境設計提案の継続実施	環境設計の推進 ・環境設計ガイドラインシート活用推進	①環境設計ガイドラインシートの更新 ②運用手順の確立・試行実施	・建物とエクステリアのデザイン一体提案フローを作成し、一部拠点にて提案率向上のための試行実施(提案率90%達成) ・エクステリア見積システムの改修実施
		環境に配慮した生活スタイルの提案 ・エクステリア環境配慮提案『Smart Gardens』の普及推進	①『緑のエントランスを創る』植栽提案の推進 ・植栽提案のためのツール、フローを設定	・『植栽パッケージ提案リーフレット』の作成、使用方法を一部拠点にて試行実施。 ・リフォーム担当者へのエクステリア勉強会を実施
【住宅の省エネルギー】 居住時のCO ₂ 削減を目指します。	専用住宅居住時のCO ₂ 排出削減	2030年39%削減(2013年度比)に向けて居住時のエネルギー使用量削減対策の検証と実績値算出 ・エネルギー削減効果の把握 ・高断熱・省エネ・創エネ技術の普及状況の調査と目標に対する普及促進の検討	①「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.2.2.1」(国立研究開発法人建築研究所発行)に基づいた、高断熱・省エネルギー・創エネ設備の普及率によるエネルギー消費量削減率調査。(2013年度比) ②ZEHビルダーのZEH普及目標に基づいたエネルギー削減率目標の立案 ③高効率設備のベストセレクション仕様設定による普及	・2018年度エネルギー消費量削減率:30%(2013年度比) ・2018年度ZEH率:20%

住まいの長寿命化

環境目的	中期目標(2020年)	2018年度目標	2018年度実施計画(具体的な内容・方法等)	2018年度の実績
【維持管理システム】 キープウェル住宅・60年間の定期点検とメンテナンス実施の普及を目指します。	長期優良住宅を含むキープウェル住宅オーナーへのメンテナンスプログラムの普及促進	メンテナンスプログラム普及率の向上 ・2018年度目標普及率88%	①長期優良住宅以外への対応のためメンテナンスプログラムを改訂 ②担当者向け勉強会の推進	・2018年度メンテナンスプログラム普及率:85%
		補修・点検システムの整備・推進	①各種研修等での教育訓練による意識付けとスキルアップを図る ②点検報告システムの整備とメンテナンス提案力の増強を図る	・業務研究会等実施し、計画達成の為の分析・教育・管理方法の確認と情報共有を図った。

環境負荷の少ない企業活動

環境目的	中期目標(2020年)	2018年度目標	2018年度実施計画(具体的な内容・方法等)	2018年度の実績
【事業活動による環境負荷の低減】	継続した省エネ活動の推進	オフィス、モデルハウス、工場等での省エネ推進 ・MHオフィス等削減率(2009年度比)9% ・MHC全工場削減率(2010年度比)9% ・MDT本社削減率(2010年度比)14%	①オフィス・モデルハウス・工場等におけるエネルギー使用量の把握 ②不要照明の消灯・空調の適正運転・省エネ機器の導入	2018年度実績 ・MHオフィス等:29%削減 ・MHC全工場:17%削減 ・MDT本社:27%削減
		自動車エネルギー使用量の削減 ・MH燃費改善(2014年度比)5%	①燃料使用量および燃費計測の継続 ②社内通達による安全運転の啓発、削減活動の推進	2018年度実績 ・MH燃費改善率:11%
		・MHC燃費改善(2012年度比)9%	①工場から施工現場への構造材輸送距離短縮による燃料消費量削減 ②施工現場での荷降ろし待機時間削減による燃料消費量削減	・MHC現場への納材に係る燃費改善率:11% ・MHC調達にかかる燃費改善率:6%
		・MDT燃費改善(2012年度比)6%	①走行距離、ガソリン使用量実績調査 ②省エネ運転啓発活動 ③ハイブリッド車導入の推奨 ④安全運転啓発活動の継続実施	・MDT燃費改善率:14%
		・MHT燃費改善(2012年度比)8%	①低燃費車(ハイブリッド車等)の導入推進	・MHT燃費改善率24%

[略] MH:三井ホーム株式会社 MHC:三井ホームコンポーネント株式会社 MDT:三井デザインテック株式会社 MHT:三井ホームテクノ株式会社